



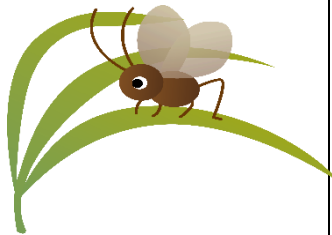
第二ぎんなん便り

社会福祉法人
熊本市手をつなぐ育成会
第二ぎんなん作業所
令和3年9月28日発行
第424号



【秋の訪れ】

施設長 松永 行弘



残暑も日ごとに和らぎ初秋の季節となりました。みなさんはお変わりなくお過ごしでしょうか。

ある休日の出来事ですが、散歩しているとあぜを彩る赤い花がとても綺麗でしたので、思わずカメラに収めました。「彼岸花」です。花茎の先に反り返った鮮やかな赤い花の形はとても神秘的に思います。

またある日の夜、耳を澄ましているとコオロギたちの素敵な演奏会が催されていました。秋の訪れを気持ちよく満喫している今日この頃です。

新型コロナウイルスの接種が進み、一日も早く収束に向かい、安心して日常生活が送れる日が来ることを願っています。長雨・大雨が続き、また暑さなども加わり体調を崩される利用者さんもうらっしゃいました。今後は一日の気温差が大きくなりますので、体調には十分お気を付け頂きますとともに、感染拡大防止対策へのご協力をお願い申し上げます。

さて、東京パラリンピック競泳（視覚障害）で銀・銅メダルを獲得した富田宇宙さんが帰熊し、新聞社のインタビューに「共生社会の機運はもっと大きく」と語られた記事を拝見しました。

また、「障害者差別解消法」が5月に改正され、障がい者の社会参加を阻む様々なバリアを取り除く合理的配慮が、企業にも義務付けられることになりました。障がいがあることを理由にした不当な差別的対応を禁じています。「共生社会の実現」に向けて法の趣旨が広く浸透し、共生社会や障がい者への理解が進むきっかけになって欲しいと思います。

作業所の様子 【受託：梶尾・平成学園】



特に「梶尾」の場合、私にとっては密林の中での作業でした。気温が高くとても暑かったのですが、利用者さんや職員のみなさんはバリバリと仕事をこなしていました。ご覧の通り「坊主頭」になったような気持ちになりました。

【熊本市信書便集配：北区役所・東区役所】



熊本市からの委託業務で、平成20年からスタートし、大切な文書（信書）を各区役所や出先機関に集配する仕事です。毎日（平日）利用者さんとドライバーの二人一組、車三台で決められたコースを回ります。大切な信書を運ぶので、誤配や集配漏れがないことなど責任重大な任務です。私も月に数回程回りますが、利用者さんは朝早くから登所し、責任感を持って頑張っています。

【熊本市手をつなぐ育成会定期大会：表彰式】

9/2(木)



永年にわたりリサイクル等でいつも大変お世話になっています「馬場商店」さんが表彰され、感謝状を授与されました。今後とも宜しくお願い致します。